鶴見区区政会議 平成28年度第3回防犯・防災部会

1 日時

平成28年11月7日（月） 19時00分～20時00分

2 場所

鶴見区役所 3階 301会議室

3 出席者

（委員）

宗宮部会長、山下副部会長、植田委員、田中（泰）委員、西田委員

（区役所）

河村区長、小川地域活動支援課長、秋山地域活動支援課長代理、

前田地域活動支援課担当係長

4 議題

1. 平成29年度鶴見区運営方針の素案について

5 議事

開会 19時00分

○前田地域活動支援課担当係長 こんばんは。定刻になりましたので、ただいまから鶴見区区政会議 平成28年度第3回防犯・防災部会を開会いたしたいと思います。

本日の司会を務めさせていただきます地域活動支援課担当係長の前田でございます。よろしく願いいたします。

それでは開会にあたりまして、河村区長からごあいさつを申し上げます。よろしく願いいたします。

○河村区長 皆さん、こんばんは。今日は防犯・防災部会に、遅い時間からお忙しい中、集まりいただきましてありがとうございます。

前回、9月の終わりに、来年度の運営方針をつくる中でいろいろご意見をいただき

たわけですが、それを反映させた形で、今、素案を作成しておるわけですが、今日は前回よりももっと深めた形でご議論をいただいて、我々もブラッシュアップを図っていきたいと思いますので、どうぞ忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

○前田地域活動支援課担当係長 ありがとうございます。それではこれより、議事進行を宗宮部会長にお願いいたしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○宗宮部会長 部会長の宗宮です。本日は、夜間お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

今年度3回目の部会になりますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議題の平成29年度鶴見区運営方針の具体的取組みの素案について、事務局から説明をお願いしたいと思います。前田さん、お願いします。

○前田地域活動支援課担当係長 ご説明の前に聞いていただきたいのですが、鶴見区役所で10年、防災の担当をしておられました村上主任が、10月29日、土曜日の明け方に、急にお亡くなりになりました。本当に、村上主任の功績は、身内をほめるわけじゃないんですけど、すばらしい人やなど、あんなやさしい人に出会ったことがなくて、すごく惜しい、突然のお別れということで、残された私とか秋山代理、防災担当につきましては、今後、村上主任から教えていただいたことを糧にしまして頑張りたい所存でございますので、よろしくお願いいたしたいと思います。

では、座って説明させていただきたいと思います。それでは、資料1の安全なまちづくり、経営課題4からご説明をしていきたいと思います。まず防犯カメラの設置につきまして、平成27年度、28年度と、地域の要望を踏まえながら台数を増やしていきまして、現在約240台の防犯カメラの設置をしております。29年度も、地域要望を聞きながら、今年度と同数の30台の設置を図ってまいりたいと思います。また、街頭犯罪の防止・抑止効果を狙いました“防犯カメラ設置中”のプレートにつきまして、前回のご意見をいただきまして、防犯カメラ設置箇所の近辺に“防犯カメラ

設置中”というプレートを効果的に設置してまいります。これにつきまして、防犯カメラとあわせて犯罪の抑止効果、多大なものになるかと思っておりますので、地域要望を聞きながら、また設置の方法、箇所を決めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

防犯推進委員を中心にいたしました各地域団体・関係機関が連携した区内一斉防犯活動、これにつきましては、今週11月9日の水曜日に防犯推進会議を開いてまいりたいと思っております。この場で、今後の取組み内容につきましてご意見を伺いながら、中身を検討してまいりたいと思っております。来年度も行ってまいりたい所存でございます。よろしく申し上げます。

区役所、警察署、各地域防犯組織、青色防犯パトロール隊、子ども見守り隊、防犯推進委員等による合同連絡会、これにつきまして、年に1回開催してまいりたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。毎月26日をツーロックの日として鶴見区は定めておりますが、これにつきまして二重ロックを推進するための啓発活動を年に12回進めてまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。

最後の、街頭犯罪抑止効果と区民の防犯意識の高揚を図るため、区役所前の照明柱に防犯バナーを設置するというところでございますが、下のトピックスに設置のイメージということで、イメージ写真をのせてございます。区役所前の照明柱の下に、こういったバナーを取りつける装置がございまして、現在は何もかかっておりませんが、ここに7本ございます。今後、バナーの内容につきましては検討いたしまして、つけてまいりたいと思っております。今年度、中学生の防犯標語コンクールを行いまして、875件の応募作品がございました。その中から優秀作品を、このバナーに設置してまいりたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、1枚めくっていただけますでしょうか。交通安全につきまして、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業といたしまして、まず子育て層への交通安全教室を、1地域1回の実施としまして年間12回開催してまいりたいと思っております。高齢

者への交通安全研修会の実施といたしましても、年に1回開催してまいりたいと思います。これにつきましては、参加者を募る手だてを、来ていただいで見ていただくことに意義がございますので、まず来ていただく方策というのを少し考えたいと思います。よろしくお願ひいたします。園児への交通安全教室の実施といたしまして、年に3回実施してまいりたいと思います。警察署、区内の学生と協働いたしました自転車のマナーアップキャンペーンにつきましても、交通安全運動の期間にあわせまして、年4回実施してまいりたいと思います。

幅広い層への効果を狙いましたスケアード・ストレート学習ということで、これにつきましては今年度、学校以外の広く区民の目に触れる場所でのスケアード・ストレート学習を実施してはどうかというご意見をいただきまして、先日10月23日に鶴見緑地で開かれました安全・安心フェスタでやってまいりました。29年度につきましても、このスケアード・ストレート学習を行いたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

地域と連携いたしました放置自転車の啓発活動、これにつきましても現在行っておりますが、今年度、小学生の方から交通安全絵画のコンクールを行いまして、優秀な作品が集まっております。そちらの作品を新たにティッシュの図柄といたしまして更新し、使ってまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

転入者への区内駐輪場マップの配布ですが、民営の駐輪場につきまして、11月中の期限としまして、現在、情報の提供を受けておるところでございます。今後、その場所が適切な場所かどうかということを確認いたしまして、建設局と意見を交わしながら、駐輪場マップを作成し、配布を行ってまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、3枚目を見ていただけますでしょうか。防災につきまして、区民の安全・安心を担う総合的な防災力の強化というところでございます。地域の避難所の開設運営訓練につきまして、今年度は講習会を開いている地域が何カ所かございます。

そこで学習を行われて、また来年度に向けて、新たに避難所開設のノウハウ等を深めていただきまして、12地域で訓練を実施してまいりたいと思います。

2点目、防災を中心として、広く安全・安心について学んでもらう場としての「鶴見区安全・安心フェスタ」の実施ということで、今年度に引き続きまして、内容も改めましたものを開催してまいりたいと思います。これにつきましては、下を見ていただけますでしょうか。自助・共助の意識向上をめざし、あらゆる世代を対象にいたしました防災講演会を開催と書いてございます。具体的には、この講演会に防災士の資格を持った著名人をお招きしまして、防災に興味がなかった方にも来ていただけるような防災講演会の開催を考えております。それで、今まで来ていただいたことがない世代の方とか、いろんな方にお越しいただきまして、先ほど申し上げました鶴見区安全・安心フェスタを同日に開催いたします。講演会を聞いた後で、各ブースを回っていただきまして、自助・共助の意識を高めていただくということで開催してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それから、一般参加も検討したつるみんピックを開催してはということでご意見をいただきました。来年度につきましては、一般の方にも参加していただけるような内容を検討し、開催をしてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。今年度につきましては今後、つるみんピックを開催してまいりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

小・中学生を対象といたしまして、防災学習会の開催につきまして、今後進めてまいりたいと思います。方策につきまして、視覚的な、例えばビデオを見ながら、それについて意見を言っていただくとか、興味のわくような内容にしてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

以上、資料1のご説明を終わらせていただきたいと思います。

○宗宮部会長 資料2はあとで。

○前田地域活動支援課担当係長 資料2はあとで進めたいと思います。

○宗宮部会長　先に入ってしまうんですけど、今日欠席の西口さんは、お休みということ。

○前田地域活動支援課担当係長　お休みというご連絡がございました。

○宗宮部会長　それでは、今説明いただきました29年度の方針につきまして、質問、意見等を行っていきたいと思うんですが、大きく柱が3つありますので、柱ごとに対応していきたいと思います。

1つ目の防犯にかかわって、今の区の説明について、ご意見、ご質問ありましたらお願いします。前回、前々回といろいろ話をしていく中で、前回、西田委員がおっしゃっていた、防犯の日の取組みがややもするとマンネリということで、せっかくいいことをしているのに継続性にちょっと問題があるというような声も出てきているというようなお話もあって、前回、そのほかの話題も出ていまして。11月9日というところで、具体的な動きにもなっているかと思うんですけど、西田委員、何かそのあたり。

○西田委員　防犯一斉行動にしても、参加者は決まった人で人数がだんだんと少なくなってくる。そういうことで再度、地域としても募集じゃないけども、これはもう自由参加で強制的ではないので、各町会会議で町会長さんに、一人でも参加してやってくれということ、我々は言っています。各地域の皆さん方がそういうふうに、やはり町会長会議で発声してもらって、持って帰って、参加してくださいよというふうに、声かけというのが大事だと思うんですね。ようわからんけども、参加者が少ないというのは声かけをしていないのかなと。

例えば、青パトでもそうなんです。ちょっと話をごちゃごちゃになりますけど、青パトについてもね、75歳以上はもう危ないということで、私のところ、茨田南地域としては75歳以上はもう運転はやめましょうと。しかし、横に乗ってくださいと、運転はしてはいけませんよということでやっています。ところが、それも今、ご存じのように、お年寄りばかりがだんだんと増えてきて、若い人はほとんど、50代なんて

まるっきり。夜の巡回でしたら、たまにと言ったらいかんけれども、何人かおられます。うちも35人ほどおるけど、その中で50代といたらもう何人で、70代がほとんどで、60代が数えるほどという感じで、本当にこれも私どもも困っています、実際。

やはり、半強制的ではないけれども、同じことを言いますけれども、町会会議で町会長さんに、あなたのところの町会で、一人でもスカウトして出してこいと、私、半強制的に言っています。それでいても、なかなか集まりません。そんなんでも、これはもう皆さん、一人一人、自分自身にかかわることですので、そういう気持ちが相手さんにわかるように、会議の中で理解できるような話し方をしてほしいなというのを、私どもの町会長会議でもするんですけど、いつも思います。

そういう意味では、よその町会長会議、どんなふうに行っているのかな。私も、いらん話ですけど、この会議をさせてもらっていますんで、今年はよその地域も一遍、回らせてもらうかなと思うところがあるんです。そんなことで、できるだけ若い方というか、それに対応できる人、できるだけ皆さんで探してもらって、引っ張り込むということ。何でもそうやと思います。これだけじゃなしに、ほかのこともだと思えますけど、引っ張り込むようなことを考えてもらわんと、このままでしたら、お年寄りばかりで何もできんということにもなりかねませんので、そこらあたり、皆さんの意見も聞きたいと思っています。

○宗宮部会長 今、てこ入れをしていく必要があるということと、青パトについてご意見をいただいているんですけど、ほかの地域とか、ほかの状況はどんな感じですか。榎本も88名の隊員と言っていますが、今、西田委員がおっしゃっているように、高齢化というか、そういう傾向というのがあります。その中で、うちが今、特に声をかけているのは女性の参加。青パトの講習会への参加に、女性の方に声をかけて、たくさん行ってもらっているというような状況で。女性の方は、うちの青パトの深夜の時間帯はできるだけ外すという形ではやっているんですけども、女性の青パト隊員が参加することで、今、西田委員がおっしゃっているような70代ばかりというの

が若干、緩和されてきているというふうなことが出てきているということがあります。

○山下副部長 防犯推進委員の立ち上がりの経緯と言いますか、考えると、いわゆる防犯協会の防犯委員の支部長が立たされてしまって、現状も防犯推進委員をやっているという状況になっちゃっているんですよ。本来の目的というのは各種団体の横つながり、横連携をとるという意味合いで、推進委員というのが立ち上がったと思うんですけど、そういう経緯があるので、今、団体間の横つながりができていない状況だと思うんです。これを解消しようとするならば、例えばPTAにも防犯推進委員がいる、老人会にも防犯推進委員がいる、あと、青指、体協、その他もろもろ、各種団体に防犯推進委員という方がいらっしゃって、そこが1つ会議体を持つということで、横串がちょっと太くはなるのかなと考えます。以上です。

○宗宮部長 なかなか防犯委員だけ毎月決まった時間に出てこいと言ったら、負担が大きいですね。

○山下副部長 でも、実態はそういうふうになっていますので。

○田中（泰）委員 各種団体も今、役をしていただく方が少なくなっております。特に青指さんは本当に、定年制もありますしね。50歳という定年制があるので、なり手がありません。だから、それでまた、こういうのがあって、また余計になり手がなくなってしまうのではないかと。PTAさんも、なかなか協力いただけない。

○西田委員 青指は50歳です。新規は50ですよ。それで、継続したら55やからね。50でそんな、なかなか。そんなん、どこも一緒です。悩んでいます。

○田中（泰）委員 そうなんです、あれを何とかしていただけたら。うちも今、7人しかいないそうです。

○西田委員 区長に、これ年齢を上げないと、こんなん無理ですよと話をしたことがあるけどね。今のままでしたらね、本当に。

○田中（泰）委員 うちも議員の先生が青指なんです。人がいないといつもおっしやっています。

○西田委員 余談やけど、私もやっていましたからね、青指。一番古いと思うわ、多分。ずっと区になってからも、最後まで、定年までおったからね。そんなんでよくわかっているねんけど、その時分はまだ何やいうてもおったんやけども、最近特にそういう。余談ですけど、民生委員さんを募集しても年齢が65、なかなかいないわけやね。一人は何とかいたけどね、それも大変でした。それは、どこのどんな団体でも、皆そうですよ。あえていったら、防犯委員さん、年齢制限がない体協ですか。そのかわり、この前の総会でも、75や80歳近い人とかいて。こんな言い方したらいかんけど、そんな状況ですよ、今。

○山下副部長 そうですね、確かにそんなんで、実際に動けるか動けないかというのは置いておいて、方向性とか考え方とかが、上からおりていくような組織体というか、情報の流れ方をしていくと、地域の防犯推進委員として、横連動しやすいというか、「聞いているで」というのは変な言い方になるかもしれないですけど、そっちからの情報、縦からの情報もあって、横からの話し合いがあってというふうなところをしていくと、動けるというか、動きやすいというか、動いていくんじゃないかなというのは考えますけどね。

○宗宮部長 区のほうでは、そういった状況については集約されてるんですか。

○秋山地域活動支援課長代理 今現在、防犯推進委員さん、各地域に3名という形をお願いしている中で、異動とかも多少はあったりもするんですけど、防犯委員さんが実際に担っているというのは確かなんです。そこが、立ち上げ当時からの中で、どのように地域の中でご理解いただけているのか、依頼の仕方があったのかもしれないんですけども、山下副部長がおっしゃったように、いろんな各種団体を取りまとめながら地域の防犯を進めていっていただくという趣旨、目的はあったんですが、今現在、防犯委員さんがほとんどにはなってきたので、今度11月9日に、昨年できなかったのを、改めまして推進委員全員の方に呼びかけさせてもらって、各地域の状況もお聞かせ願いながら、本当にもう一度、どういうふうに進めさせてもらったら

いいのかというのを検討させていただきたいなと思っています。

○宗宮部会長　　今のお話を聞いていて思ったんですけど、うちも町会長19名、防犯8名、女性部1名、老人会4名、PTA3名、区役所1名というのが10月の中身ですね。確かに青福とか昔、入ってはりましたね。

確かに、防犯の仕事というところで集中していると。今、西田委員からあった、町会長会議でお話をされるということと同時に、各種団体への要請みたいなことも、改めてする必要があるのかもわかりませんね。確かに、横串を刺しておかなかつたら、もうほとんど防犯だけでやっているのだったら、毎月やっていることの意味が大分薄れてきますもんね。ここに要請してもらおうということですけど、警察が入って、情報交換の取りまとめをやっていくことになったら、参加して、状況をきちっとつかんでもらう、成果をつかんでもらうというふうなやりとりの中で、生きた動きにしていくということだろうと思います。

○西田委員　　言ってみれば、防犯の委員さんも気の毒や。これだけ行事があつて、昼の行事とか、それは当然、高齢っておかしいけど、仕事していない人といつたらもう70以上になっているからね、そんな人ばかりになってしまうわね。当然、若い子に来てくれと言つたつて、昼の時間は仕事しているのに休んでまで来られないわな。いくら金出すといつても来ない。そら、仕事が大事やわ。そんな状況やからね、これは本当に考えないといけませんわな。

○秋山地域活動支援課長代理　　9日の会議には、警察の生活安全課も入つていただく話になっています。私もよくわかつていながつたんですけども、防犯委員さんはもう少し集まりがあるのかなと思つていたんですが。

○山下副部会長　　ないです。防犯は、キャリアだけでつながつていますから。30名ぐらいの人ばかりやから、顔でつながつているだけという。

○秋山地域活動支援課長代理　　そういうことなんですね。それと、警察から、いろいろ情報提供とか、定期的にそういう会議とかもあると思つていたんです。

○山下副部長 春夏の地域安全運動のときだけぐらいですね。キャリアだけでつなっているだけです。もうローテでずっと友人で回っているんで、またお願いしなすみたいなところで話が終わっちゃっている。

○宗宮部長 あと、この間、山下委員が言われていた広告が、バナーという形で具体化しているということで、何かすごいなど。

○山下副部長 すごいですね、これね。

○西田委員 この建物、どこにありますの。

○秋山地域活動支援課長代理 今、何も貼っていないんで、ちょっとあれですけど。

○宗宮部長 前回9月のときに、懸垂幕とかを前にでも立てられないのかと言ってはった。

○山下副部長 器具もちゃんとついていますもんね。

○河村区長 花博のときにね。

○山下副部長 音と、照明も、ちょうど上に蛍光灯が1本あって、多分邪魔にならないけど明るくなるような。ちゃんとできているんやな、それを狙っていたんやなと。

○秋山地域活動支援課長代理 あとは、本当につけて強度が大丈夫なのか、もう一回確認しないといけないんですけど。

○西田委員 それは大事やで、それはちゃんと確認しておかないと。

○秋山地域活動支援課長代理 はい。

○山下副部長 少なくとも1990年には。

○西田委員 それでも、あるんやったら、できるだけ早くこういうのを使って。

○山下副部長 これ、見つけはったんですか。

○秋山地域活動支援課長代理 いや、実は区長から、前々から活用できないのかというの言われながら。

○宗宮部長 具体的にこういう形で使ったら、よその部会の課題でも使おうとい

う話になるかもわかりませんね。

○西田委員　　そうですね、ここだけではなしにね。

○山下副部長　　そうですね、バナーの内容なんてどうにでも、別段防犯に限る必要はないわけで。

○宗宮部長　　ただ、今言われてたように、中学生の標語コンクールを活かすというのはいいですよ。決まりきった大人の標語ではなくて、そういう中学生の意見が役所の前にぼーんと張り出されるとするのは、中学生にしてみたら自分の言葉が出てくるということで、反応が物すごいのでは。中学校、いろいろ標語が好きで、よくやられてるみたいなんですけど、どこで発表されているのかというと、ほとんど校内の掲示板に張ってあるだけというのが状況ですからね。

○西田委員　　学校の中ではわかるけど、対外的には全然わからないからね。

○宗宮部長　　やりがいにもなってきて、ちょっと活性化するかもしれないですね。

○西田委員　　いいことですよ、これは。

○宗宮部長　　次、自転車、交通安全ですね。子育て層への安全教育ということですがけれども、高齢者への交通安全の研修会、区民ホールの小ホールで集まって、お年寄りに動員という形で集まっていたのにも、ぼちぼち限界があるのと違うかということも前回話題になっていたとあって。ただ、やっぱり大事なことなので、押さえていきたいということで継続ということだろうと思うんですけども、どうでしょうね。人権で最近、落語家を入れたり、歌を入れたりという形で啓発をやってはるというふうなことで、この自転車の啓発についても、あまり真面目な、四角四面の話ではなくて、そういうふうな形でちょっと楽しみながら、そういうお話もきちっと押さえているよというふうな工夫もされたらどうなのかなというのを、ちょっと思ったりしたんですけどもね。

○河村区長　　そうですね。

○前田地域活動支援課担当係長　　やはり、まず来ていただかなければ話にもならな

いので、いかに来ていただくかという方策を、部会長が言われたような形で、もっと楽しい、行って楽しいんじゃないかなという方面でも開いてまいりたいと思います。

○宗宮部会長　　そうですね。女性会の集まりでも、民謡とか踊りとかいったら、驚くほどエネルギーがすごいですもんね。やっぱり、そこにおもねるようなことではなくて、そういう目線も大事なのと違うかなと思いますよね。

○河村区長　　できるかどうかですけど、老人会の歌謡ショーみたいなのも一緒にやれるのだったら一番いいけど。

○宗宮部会長　　できるだけ、四角四面でしんどいというイメージを持たれないような形で、しかも啓発が効果的にできるという手法を考えていくということですよ。

全体を通してなんですけど、27、28、29年度と、どんどんとボリュームが増えたり具体的な中身が出てきているという印象もあって、非常にいいなというふうに思っているんですけど、スケアード・ストレート、来年もやるということで、これも我々の要望が受け入れられている内容なのかなと思いますけれども、今年、鶴見緑地ということだったんですけど、その辺の印象とかありますか。

○田中（泰）委員　　いい催しだったと思うんですけど、見に来られた方が少ないんじゃないかなという気がしたんですけど。

○宗宮部会長　　もったいないですよ。

○西田委員　　そうそう、値打ちがあるからね。

○田中（泰）委員　　もったいないですよ。防災リーダーの方もね、4名出しなさいと地域にきていますが、4名の方は名前をあげて出てもらって、あとの防災リーダーさんは知らん顔されてたんですけど、あれはどういうふうな連絡になっていたんでしょうね。

○前田地域活動支援課担当係長　　今回、ブースのほうを、防災リーダーさんのブースということで1つ設けまして、その中でまずロープ結索の実演と毛布担架の実演、それと後で、12時ぐらいから屋外でやったんですけども、救出救護の訓練と給水車

の応急給水訓練、あと1つが防災資機材の展示ということで、分担を分けさせていた
だいたんです。それで、これだけの人数がおられたら展開できるだろうという人数で、
1地域4名、例えば、救出救護のときに、可搬式ポンプの操作というのもやったんで
すけれども、それに4名で1編成ですので、最低でも4名ということ。

○田中（泰）委員　だから、声かけとして、4名さんにはいろいろしていただく、
あの方々は、見て、学習してもらわなあきませんと。

○西田委員　要するにね、あのときは、4名で対抗、各地域対抗やから4名以上出
てくれということで、全員には言っていない。4名の選手ということで出ているわけ。
ではなしに、やはり朝から、スケアード・ストレートやりましたやろ、あれだけのも
のをやるんやから、あんな人が少ないのはもったいない。そやから、何で全員に声か
けなかったんかなと私は思いました。

○田中（泰）委員　そうですね、町会長会議のときでも4名お願いしますというこ
とだけで終わってしまっ。

○西田委員　選手4名でいいと。

○田中（泰）委員　どうして皆さん、行かないのかなと。私も実際、防災リーダー
なんですけど、声かかっていなかったけど行きましたけどね。

○前田地域活動支援課担当係長　伝え方を間違えたかなというか、4名でいいです
よという意味に捉えられてしまったのは、私たちの情報の発信の仕方がちょっと。

○西田委員　4名でいいんやったら選手だけやからね、ほかの人は行かんでもいい
のかということやった。私は、いろいろあるから行ってきていいよとは言ったけど
ね。そやけど、4名は必ず行くけれども、ほかの人は適当に、ほな行くわと言ってて
も行かなかつたりとかね。ああいうふうには朝からこういうことやるんやでと言ったら
絶対、興味をもって来ると思いますよ。

○田中（泰）委員　そうなんです、知らされてなかったというかね。

○西田委員　だから、募集の、参加するやり方がおかしかった。

○宗宮部会長　　今、話題になっているように、確かにそうですね、4名という数字がひとり歩きしてしまったみたいな感じが。

○前田地域活動支援課担当係長　　そうですね、地域防災リーダーの実演としまして4名の方、まずお名前をあげてくださいというおろし方だったんですけれども。ですので決して4名だけというわけではなくて、そこはちょっと。

○宗宮部会長　　大阪市全体の、大阪港、舞洲でやるやつ、あれは1名だからというのと、これが4名という、一緒の感覚で。こっちが1名で、こちらは4名やみたいな言い方にどうしてもなってしまったんですかね。ただ、4名やということで、このフェスタ自体の全体像をおろしきれてないというか、やっぱり広報不足みたいなところがあるんでしょうね。どんなフェスタをしようとしているのかということが伝わったら、4名やというのが自然に何の4名なのかというのがわかったと思うんですけど、それが何をやる場なのか分からない、どんなことをされるのかわからないということで、やっぱりその4名がひとり歩きしてしまった。

○西田委員　　そんなんで、その4名、物すごくこだわったわけですよ。そやから茨田南地域は、2回ほど上位に入っているねん、優勝か何か知らんけど。今回はその中で、よくわかる人が2人か3人抜けているわけや、新しい人が行くからね。ちょっと無理やなというような話やって、その4人はね。多分、そやから、うちは今までみたいな上位じゃないよ、優勝はできんよと言って行きました、実はね。

○山下副部会長　　役者だけ集めちゃった感じなんですかね。客がいなかった。

○秋山地域活動支援課長代理　　つるみんピックの、いい意味で印象が強過ぎて。今回は違うんですよ、フェスタをさせてもらうけど、つるみんピックみたいな各地域の競争ではなくて、この日は地域防災リーダーさんの宣伝というか広報をしたいのでブース展開を、というところがなかなか伝わらなくて。私も、失敗したなど。

○山下副部会長　　例えば、地域で100人ぐらい動員したとして、12地域あって、1,200人ぐらいあったとして、無理やり連れてきて見ても、あ、値打ちあるなど

言うぐらいの内容だったんですか。そのスケアード・ストレート、見ていないんですけど。

○宗宮部会長　結構長い時間帯やから、どうなんやろうと思ったら、アナウンスもプロやから、もう見事に一度もかまわずに、説明も物すごく簡潔に。確かに最後のほうは、子どもがちょっと飽きたみたいな感じはあったんですけど、大人は最後まで飽きさせずに1時間びっしり、見事にやりはるなど。それも、最後にちょっとした演出も入れて、観客をつかむという。ショーではありませんと最初に言わはるねんけど、ショーとしてほぼ完璧に仕上がっているのが、さすがプロの舞台やなというふうに。

○西田委員　最後にほんまにひやっとしたけど、ひかれたんと違うかなと。起きて来なかったやろ、最後。誰でも一瞬、思ったのと違うかな。あれ、ほんま違うんかと思っ。

○宗宮部会長　西田会長と久木会長も、車に乗ってはりましたですね。最後のけがをしたという演出まできいていた。

○西田委員　あれは私、本当に経験をさせてもらったわ。すごい、ほんまに。これは人がぼんと上に上がったもんな。

○山下副部会長　お願いで見る人を集めたとしても、その内容が充実しているものであれば、よかったなという反応が返ってくると思うんで、やっぱりその辺はね。まあ言ったら、訳わからんところに自ら行くというのは、なかなかないかもしれない。

○宗宮部会長　僕の印象はね、田中委員の印象もそうやったと思うんですけど、あれはお勧めできると思います。だまされて連れてこられても、あんなんかとは言わないと思うぐらいのちゃんとした、しっかりした仕組みになっていたと思います。

○田中（泰）委員　市バスも登場していましたんでね。

○宗宮部会長　あれ、よかったですよ。

○山下副部会長　リアルですね。

○宗宮部会長　そうなんです。トラックの荷台がバスの車内という想定なんです

けど、具体的に市バスがあるから、トラックの椅子が車内やねんというのイメージがわくんですけど、なかなかトラックだけやったらあそこまでイメージがわいたかなというふうには思いましたですね。

○山下副部長 その辺も含めて、ちょっと動員。

○宗宮部長 というか、確かにもったいない。それと、つるみんピック、いつやねんというのが。つるみんピックとフェスタと重なってしまったということになっていたというのは、企画する側の準備不足みたいなどころがあるのかなと、もったいないですよ。

○西田委員 あれは一人でも多く見てほしかった。

○宗宮部長 ただ、27年から28年に、高校の中でしか見せていなかったというのは、もともと緑地域でやられて、一般参加もあった中で、それが高校という塀の中に入ってしまったものを、今年オープンにされたということでは意味があったと思いますし、来年されるということですから、さらにその辺の広報をしっかりとやっていくということで、より効果的なのではないかという感じはします。

交通安全のところでは、このような形でよろしいですかね。資料2ともあわせて、見ながらやっていたんですけど、自転車については、全体の議論の中でサイクルロードとかレンタサイクルとかいうような言葉も出ているんですけど、これは今後の参考とか関係部署へのつなぎということで終わっているんですけど、やっぱり区として何かしら動き出すというようなことはお願いしたいなと。それで、29年度の具体的な動きというところでは、なかなか難しい課題なのかなという感じはしますけれども。

あと、話としては、安心安全フェスタと重なって話をしていますので、防災というところで話のほうも動かしていきたいと思えますけれども、地域の防災訓練は大分佳境に入っているというか、まだ半分ぐらいですか。

○秋山地域活動支援課長代理 今度で7地域目ですね。

○宗宮部長 まだ半分過ぎたところという。うちはこの間、30日に一遍やった

んですけど、避難所開設訓練をやっていた中で感じたのは、HUGをきちっとやっているということが、当日の中に、きちっと反映できてきているのかなというのを物すごく思うんですよね。自分で考えて、こういうシチュエーションではこう動くんだということの説明とか、マニュアルとかでなしに、HUGでみんな自分で考えてこられたことが活かしていけるということが、自主防災としては一番あるべき形なのかなというふうな感じもするんですよね。HUGを全地域できちっと押さえていくというふうなこともポイントなのかなと。ハードルの高いことを言うてしまうとなかなか厳しいというふうには思うんですけどね。

○秋山地域活動支援課長代理 図上訓練はかなりの地域でもやってもらっているところなんですけど、確かにHUG自体はまだ2地域ぐらいでしかできていない。実際、避難所を最終的に運営していただくというところを考えると、できればいろんな地域で実施はしたいなと思っているんですけど、なかなかそこは広げきれていないというか、ちょっと頑張っていけないといけないかなとは思っています。

○西田委員 村上主任おらんねんから、あんたしっかり頑張らんとあかんよ。

○宗宮部会長 このHUGは、村上さんの十八番やから。

○秋山地域活動支援課長代理 はい。資料を、本当にいろんなところから情報を仕入れて、いろんなパターンのパワーポイントとかを、原稿も含めてつくってくれているのもあるので、そこは活かしていけないといけないなと思うので。

○西田委員 そやね、なおさらやな。

○宗宮部会長 正直、榎本でもHUGやる時、横向いてはる人とか、こんなもんつき合っられるかと冷めた感じで対応してはる人が、10分、15分過ぎたら仕切り出していますからね。これもう、やる前とやっている間と全然、変わってきますかね。今、地震があちこちで起こっているという緊迫感も含めて、今やるべきタイミングなんやろうなというふうに思いますけどね。

○前田地域活動支援課担当係長 私もこの4月から、この担当をやらしていただい

ておりまして、今まで2回ほどHUGをやらしていただいたんですけど、やっぱり今おっしゃったように、すごく効果的というか、役に立つということを、改めて、この前、榎本に参加させていただきまして、カードを読みながらですけど感じております。代理が言われたように、私もこれはどんどん進めてまいりたいなと思っております。

○西田委員　　そうですか。

○宗宮部会長　　つるみんピックは、具体的な日程とかめどとか立っているんですか。まだ。

○前田地域活動支援課担当係長　　申しわけありません。年明けになるのですが、具体的な日にちというのは、まだ検討中でございます。

○宗宮部会長　　できるだけ早く防災リーダーの方には言わないと、これで済んだと思っはる人もいますから。

○前田地域活動支援課担当係長　　申しわけありません。

○秋山地域活動支援課長代理　　2月にはしたいと思っているんですけど。

○宗宮部会長　　全体を通して、もう時間的にもあと10分ぐらいですので、もどに戻っても結構ですので、何か29年度の方針ということで、ここに書いてある内容で何かありましたらお願いしたいと思っます。今日は植田さん、お声が出ておりませんけど。

○植田委員　　資料をいただいたときから、うん、うんという感じで。

○宗宮部会長　　小・中学生への働きかけを、今年、来年も含めてやっていこうというのが、このテーマの中に入っているので、これは物すごくいいことだと思っます。小・中学校でやるということで、区役所が入ると同時に、防災リーダーや町会長を中心に地域との連携を深めていくという形で、防災を通してコミュニティづくりということになっていったら一番いいのかなと思っます。

あと、よろしいですか。

○西田委員　　今、おっしゃられる、小・中学生を対象とした、緑と榎本がやってい

るのがありますわな。じゃあない。ほかもしています。

○秋山地域活動支援課長代理 中学校との連携ですか。でいくと、緑はまだですね。今年、防災講演会をされるので中学校には呼びかけをされたんですけど。あと訓練でいくと、横堤が中学校と。

○西田委員 そうか、どこか聞いた。横堤やったんかな。

○秋山地域活動支援課長代理 そうですね。

○西田委員 やっぱり、小学生はなんやけど、中学生はしっかりね。みんな、体も大きいからね、人を助けるということも、中学生にはこれ絶対、指導しないといかんし、教えないといかんし、また役づけというのか、そういう人をやっぱりつくらないといかんと思いますよ。

○宗宮部会長 大阪市のホームページを見ていても、地域のいろんな取組みを見ていても、中学生に結構、よその区もスポットを当てて、中学生に重要な役割を果たさせるとか、何かそういうふうなことを今、東淀川とかいろいろやっていますね。

○西田委員 うちら、おくらしているかもしれへん。

○宗宮部会長 中学生は結構、西田委員が言われてるように頼りになりますしね、やったら親が来るというのが。

○西田委員 ある町会で、それをしましてん。そしたら、中学生の子どもに4、5人、当然親が来ましてん。で、よかったね、十分、役に立つので頑張ってくれって言ったら、やる気を出してね。ある町会でしたけどね、高層のマンションの住宅でね。そういう経験をしていますんで、私も偶然見ていましてね、前から思っていたんやけど、今度は防災訓練のときに若い子に来てもらって、何かの役づけというか、責任を持たせてやったら、結構、皆さん頑張ってもらえると思うんでね、大事やと思っています。

○宗宮部会長 この間の榎本ときは、今津中学の生徒会の役員の方8名と、汎愛高校の剣道部から24名来て、ここの剣道部、めちゃくちゃ役に立つんです。設営から片づけまで、もうめちゃくちゃ役に立って。

○西田委員 うってつけやな、それ。

○宗宮部会長 もうすごかったんです。毎回、運動部の人本当に役に立って。今回、顧問の先生も、気持ちが物すごく入りはって、素晴らしい訓練に参加させてもらってとかいう感じのことを言ってもらってね、こっちが恐縮してしまうぐらい。ボランティアに参加してもらうことで、彼らに地域が防災を真面目に考えているんやということや、パーンとボールを投げるのができたんやろうなということや、物すごく、高校生自身に反応ができてきたということで、顧問の先生もえらい感激してくれてはりましたんでね。何か、ええ関係やなど。

○西田委員 正解やな、それは。

○宗宮部会長 アンケートをとったら、毎年、本当に同じことばかりやってという辛口のアンケートもあがってくるんですけど、そういうアンケートを書いている人は多分、高校生のそういう心情というのは見えていないんやろうなとは思いつつながら、アンケートを見ているんですけどね。

○西田委員 そうやな。ほんまや、ほんまや。

○山下副部会長 今のお話でいくと、さっきの防犯推進委員の担い手が、ひょっとしたらその学校の生徒に置きかわっていく可能性も。安全確保とかね、その辺の難しさもあるかもしれないけど、地域の高校生、中学生が防犯推進を担っていくところもあるし。僕はある意味、つなぎになると思うんですよね。ただ、やっぱり危ないという、交通安全とかその辺のところやちゃんとすり合わせはしないといけないと思うんですけど、そうやって地域と学校が交わっていくというのはいいことかもしれないですよ。

○宗宮部会長 今お話があったことは、ちょっと検討するべきですよ。毎月やる必要はないですよ。そういう中学生が参加する防犯の日というようなことを、まさに生徒会とかが自主的にやってくれるとなれば、PTAも動き出すだろうし、学校が徐々に中学生の課題として、地域の防犯を考えていこうということをやってもらった

ら、単に標語を書くよりもよっぽど実践的な教育になるかも知れませんしね。おっしゃるように横串ということで言ったら、中学生、むちゃくちゃ横串ですよ。

○植田委員 本場に、中学生がボランティア精神で、自らが決めて参加して、得たものというのはすごく大きいと思いますし、それが中学生の、俺らが地域のことを任せられたんだ、じゃあ防犯やろうぜと言って、横へ横へこうなっていったら、宗宮部会長が言ったようなことにつながって行って、区としてもどんどん防犯で、犯罪が減っていくんじゃないのかなと。

ちょっと前にY o u T u b eの動画を見ていて、ブルネイの話が動画で出ていて、そのときにブルネイに木村何とかさんという方が行かれて、占領するんじゃなくて、ブルネイをよくするんだということでやっていったことで、ブルネイの人が最初はうさん臭いな、この日本人と置いていたけれども、協力して、まちをよくしていこうと言ったら、本当に犯罪とかそういう大変ないろんな事件が起きなくなった、いいまちになったということで、本当に一人の誰かが、中学生が、誰かがやろうぜってパッとやったことが、すごいいいことにバーッと地域が変わっていくんじゃないのかなというふうに、お話を聞いていたらそう思いました。

○宗宮部会長 中学生を利用するというには決してなってはいけないので、中学生自身が、自主的に考えてやっていただく中で、地域との連携をやっぴり図っていくという、うちとしては窓口を開けていますよということで、自主的に参加してもらえるようなタイミングで。中学生が外へ動員されて、やらされている感があったら、せっかくの思いというのが伝わってこないということにもなってくるかと思いますが。

ただ、今、山下さんが言われているようなことというのは、ぜひ検討すべきですよ。地域が高齢化して壁に当たっているということであれば、中学生の親も見越したところで、やっぱり地域へ返していくというような、中学生自身も返ってくるようなことで考えていくというのは、ほかの取組みにも重なってというか、連なっていく

関係になってくるんですね。

よろしいですか。

○前田地域活動支援課担当係長 はい。

○宗宮部会長 今日は、市議員の先生方は来られていないので、これで、本日予定されている議題としては終わりなのかなと思っています。前田さんのほう、何か補足するようなこと、ありますか。

○前田地域活動支援課担当係長 本当にいろいろ貴重なご意見をいただきまして、まことにありがとうございました。本日のご意見を踏まえまして、平成29年度の運営方針の素案として取りまとめてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。また、今後の予定でございますけれども、本日、平成29年度の具体的取組みについてご説明をさせていただきましたが、次回、12月に開催を予定しております全体会で、鶴見区運営方針素案として取りまとめたものにつきまして、ご意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○西田委員 12月の日にちは決まっていますか。

○前田地域活動支援課担当係長 改めて調整させていただきますので、よろしく願いいたします。

○宗宮部会長 本日、これで終わっていきたいと思います。どうもありがとうございます。

閉会 20時00分